

枚方市立図書館第2次グランドビジョンの進捗状況一覧（平成24年度）

資料1

(進捗状況評価凡例 平成27年度末までの取組内容を踏まえた平成24年度の進捗状況
 ◎：達成 ○：順調に進捗 △：進捗がやや遅れている ×：未着手) 部分が今回修正した部分

運営基本方針	No.	サービスの種別	主要なサービス展開の方向	平成27年度末までの取組内容	平成24年度の実績	進捗状況の評価	平成25年度の取組予定(継続的な取組は除く)
1 市民の生涯学習を支援する図書館をめざします	1-1	図書館利用者層の拡大	① 利用者の年齢層にも配慮した図書館活動や広報活動の推進によって、実利用者率（★注1）25%をめざす。	<ul style="list-style-type: none"> 年齢層を意識したおはなし会や各種行事の実施及び活字やホームページ等を用いた広報活動の実施により利用促進を図る。 中高生への利用促進のための取り組みを行う。 開架フロアでの積極的な書架案内や資料案内を行うなど、市民と職員が向かい合う人と人とのサービスを充実することで、利用促進を図る。 平成27年度の実利用者率25%をめざす。 	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児対象のおはなし会から成人読書会や大人のためのおはなし会など、年齢層を意識した各種行事を開催した。 図書館のイベント情報やお知らせを掲載した「図書館だより」の発行やホームページを通じた情報発信を行った。 子ども向け図書館利用案内を市立小学校全校の新1年生に配布した。 中学生向けブックリスト「おすすめの本～中学生編～いのちつながる」を作成、配布した。 図書館の各種行事の参加人数は、延べ16,001人。 中央図書館2階に「ティーンズコーナー」を設置した。「中学生の調べ学習コンクール」の開催など中高生への利用促進のための取り組みを行った。 市民と職員が向かい合う人と人とのサービスの充実を図るため、開架フロアでの積極的な書架案内や資料案内を行った。 実利用者率は19.4%(昨年度は20.4%)と昨年度より1%の減少となり、年齢層で見ると20歳代、30歳代の利用者の減少が顕著であった。 	○	
	1-2	の子ども読書活動の推進(学校図書館等と連携)	① 枚方市子ども読書活動推進計画(第2次)を策定する。	・枚方市子ども読書活動推進計画(第2次)を策定する。	・「第2次枚方市子ども読書活動推進計画」を策定した。	◎(H24)	
			② 各種イベントの継続によって、乳幼児・児童から中高生を中心とするヤングアダルト(YA)(★注2)層までの子どもたちが読書に親しみ、読書を楽しめる環境づくりを推進する。	・「第2次枚方市子ども読書活動推進計画」の進捗管理表(別紙)に基づき、図書館としての取り組みを行う。	<ul style="list-style-type: none"> 別添「第2次枚方市子ども読書活動推進計画」(進捗管理表)の平成24年度実績のとおり。 乳幼児対象のおはなし会を実施するとともに、中高生の読書推進に重点的に取り組んだ。「中学生向けのおすすめ本リスト」の作成・配布、「中学生の調べ学習コンクール」を開催し、中学生が読書に親しむ環境づくりを推進した。 	○	・中高生の課外授業”いのちのメッセージ”を開催
			③ 中央図書館2階のこどものフロアの開館時間を午後7時まで延長する。	<ul style="list-style-type: none"> 枚方市立図書館条例施行規則の改正を行う。 中央図書館2階のこどものフロアの午後7時まで開館を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年4月1日からこどもフロアの開館時間を午後7時まで延長した。時間延長した午後5時から7時まででは利便性の向上により子どもの本に携わるボランティア、保護者や幼児教育関係者などの利用が多い。 	◎(H24)	
			④ 学校図書館への技術的・実務的支援を行うなど、市立図書館と学校図書館の連携を推進する。	・「第2次枚方市子ども読書活動推進計画」の進捗管理表(別紙)に基づき、図書館としての取り組みを行う。	<ul style="list-style-type: none"> 別添「第2次枚方市子ども読書活動推進計画」(進捗管理表)の平成24年度実績のとおり。 学校図書館への図書貸出や学校訪問お話し会を実施した。中学校司書教諭と連携し「中学生の調べ学習コンクール」等を開催した。 	○	・学校図書館に対する団体貸出における利便性向上策の検討
1-3	成人サービスの充実	① 図書や雑誌、オーディオビジュアル資料、商用オンラインデータベース(★注3)などの幅広い情報を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> 成人利用者向けの図書や雑誌、オーディオビジュアル資料の充実を図る。オーディオビジュアル資料については、受賞経歴、歴史的評価、その他映画・音源資料の価値に留意しつつ、評価の定まったものを中心に市民の需要も考慮しながら収集する。 商用オンラインデータベース等電子情報の提供を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 成人の利用促進に向けて、教養・娯楽だけでなく、課題解決のための図書館利用も意識した、図書や雑誌、オーディオビジュアル資料、商用オンラインデータベースなど、幅広い情報の提供を行った。 成人向け資料の貸出総点数は2,938,277点(昨年度比3.3%減)。(うちオーディオビジュアル資料の貸出数は、ビデオ7,582点、DVD55,216点、CD37,027点) 	○		
		② 読書会・講演会など成人向け図書館文化活動を実施し、成人利用の増進を図る。	・成人利用者向けの読書会や行事を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 成人向け行事の延べ参加者数は917人(昨年度比16.4%増)と昨年度より増加した。(うち成人読書会は1館5分室において延べ77回延べ参加人数は456人、バリアフリー映画上映会1回77人、手話ブックトーク3回56人) 	○		
1-4	の高年齢者実び者	① 高齢者の生涯学習や生きがいづくりにつながる高齢者向けの図書等を充実する。	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の関心が高い資料を収集し、特集を組む。 高齢者の関心が高いテーマのブックリストを作成・配布するとともにホームページでも公開する。 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者に関心の高い医療、健康、福祉、趣味、社会活動等の資料を収集し各図書館で提供した。 元気な高齢者をテーマにした図書を集め、特集を行った。 	○	・高齢者の関心が高いテーマのブックリストの作成と公開	
2 える図書館資料を計画的に収集し、未来に伝える	2-1	図書館資料の充実	① 枚方市立図書館蔵書計画及び資料選書基準等を策定し、図書館資料を計画的かつ系統的に収集するだけでなく、蔵書の特色づくりを推進し、魅力ある蔵書の構築と図書館資料の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 資料選書基準等を含めた枚方市立図書館蔵書計画を策定する。 図書館資料の計画的・系統的な収集と蔵書の特色づくりの推進のため、成人選書会議、児童選書会議、リクエスト会議などを開催し選書を行う。 魅力ある蔵書の構築のため、資料収集とともに蔵書メンテナンスを継続的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料収集にあたっては、枚方市立図書館蔵書計画(平成23年度に策定)に基づき、各図書館の蔵書の現状や蔵書バランス、利用者ニーズ等を踏まえて、各図書館で1次選書を行った上で、中央図書館での選書会議において全館の蔵書バランス等に配慮した選書を行うなど、職員の専門的な知識・経験を生かした選書を実施した。 蔵書全体としてバランスのとれた特色ある蔵書群を構成するよう書庫入れ・修理・除籍・買い替え等蔵書のメンテナンスを行った。 一般書の蔵書冊数は899,876冊。(うち平成24年度の購入冊数は26,675冊(昨年度比9.6%増)) 児童書の蔵書冊数は354,824冊。(うち平成24年度の購入冊数は8,832冊(昨年度比3.5%増)) オーディオビジュアル資料の所蔵点数は、9,725点。(うち平成24年度の購入点数は390点(昨年度比433%増)) 合計1,254,700冊所蔵。(うち平成24年度の購入冊数は35,897冊(昨年度比9.2%増)) 	○	
			② 枚方地域コレクションに関する簡単な質問から専門的なレファレンス(調べもの相談)に至るまで幅広く対応する。	<ul style="list-style-type: none"> 枚方市立図書館蔵書計画等に基づき、枚方地域コレクションを収集する。 枚方地域コレクションの公開基準を定めそれに基づき公開する。 地域行政・郷土資料・枚方関連の新聞記事のPDF(★注4)化を実施し、レファレンスに活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「枚方地域コレクション」にかかわる資料として、24年度は枚方地域の郷土や歴史に関する研究やレファレンスサービスに活用できる専門書を中心に1,146冊収集し、蔵書数は23,301冊となった。 	○	<ul style="list-style-type: none"> 枚方地域コレクションの公開基準の策定と公開 地域行政・郷土資料・枚方関連の新聞記事のPDF化
	2-2	と枚方専門的コレクションの構築	② 枚方地域コレクションに関する簡単な質問から専門的なレファレンス(調べもの相談)に至るまで幅広く対応する。	<ul style="list-style-type: none"> 市史資料室と連携し枚方地域コレクションに関するレファレンスサービスを実施する。 枚方地域コレクションに関するレファレンス事例を蓄積し、パスファインダー(★注5)を作成し図書館に設置するとともに図書館ホームページ上で公開する。 	<ul style="list-style-type: none"> 市史資料室と連携して、枚方地域コレクションに関するレファレンスを行った。 市史資料室における市民等からの来室・電話等による市史等に係る問い合わせの件数は338件(昨年度比19.4%増)。 	○	<ul style="list-style-type: none"> 枚方地域コレクションに関するレファレンス事例の蓄積 枚方地域コレクションに関するパスファインダーの作成・公開

運営基本方針	No.	サービスの種別	主要なサービス展開の方向	平成27年度末までの取組内容	平成24年度の実績	進捗状況の評価	平成25年度の取組予定(継続的な取組は除く)
3 市民のニーズに応じて、役に立つ図書館をめざします	3-1	ビムインの充実やネットワーク予約システム	① インターネット予約システムの利便性を高める工夫を行い、利用を促進する。	・インターネット予約システムを、複数の資料をまとめて予約できる「カート方式」や、シリーズものなどをまとめて予約し順次貸出を受けることができる「セット予約」に対応できるよう改良し、利便性を向上させる。	・平成24年度のインターネット経由の予約件数は、561,678件(平成23年度にシステム改良済)。改良前である平成22年度のインターネット経由の予約件数に比べ33.7%増となった。	◎ (H23)	
			② リクエストは、市外図書館等との相互貸借(★注6)等を通じて、可能な限り対応する。 ※予約: 特定の図書館蔵書を取り置くよう希望を出すこと ※リクエスト: 図書館未所蔵の資料の提供を求めること	・市民からリクエストのある資料については、公共図書館間の相互貸借により可能な限り応える。	・相互貸借を基本に可能な限りリクエストに対応した。 ・市外図書館からの圖書の借受冊数は全館合計7,607冊(昨年度比1.7%増)と昨年度より増加した。 ・予約・リクエスト受付件数は全館合計792,978件(昨年度比6.8%増)と昨年度より増加した。	○	
	3-2	のスレフ充実(調べ物相談サービス等)	① レファレンスサービス・読書相談機能の積極的な利用を働きかける。	・市民の求めに応じ、学習・研究・調査等に必要な資料や情報の検索援助、資料の提供、読書相談などを行うとともに、カウンター等の表示や利用案内、ホームページ等でサービスの周知に努める。 ・レファレンス協同データベース等を活用し、より高度なレファレンスサービスを行う。 ・レファレンス事例集や問い合わせの多いテーマの調べ方案内(パスファインダー)を作成し図書館に設置するとともにホームページで公開する。	・市民の求めに応じ、レファレンス協同データベース等を活用し、学習・研究・調査等に必要な資料や情報の検索援助、資料の提供、読書相談などを行うとともに、利用案内やホームページ等でサービスの周知に努めた。	○	・レファレンスサービスの周知方法のさらなる工夫 ・レファレンス事例集等のパスファインダーの作成・公開
3-3	ビ情報の通信機器を活用したサービス	① 商用オンラインデータベースなどの情報通信機器を生かしたサービスの提供を推進する。	・インターネット端末の利用を促進する。 ・商用オンラインデータベースをホームページや「図書館だより」などで使い方も含めたPRを行い、利用促進を図る。	・商用オンラインデータベース(レクシスネクシス・ジャパン[日本法総合データベース]、日経テレコン21、官報情報検索サービス)及び利用者用インターネット端末を利用に供した。 ・商用オンラインデータベース用端末を含むインターネット端末の利用件数は6,831回(昨年度比6.3%増)と昨年度を上回った。	○		
		② 電子書籍の動向について積極的に調査研究を行う。	・電子書籍に関する情報収集を行うとともに、電子書籍の貸出サービスを導入した公共図書館の動向、並びに図書館での貸出にあたり必要となる電子書籍の著作権処理等に関する調査研究を行う。 ・市立図書館に導入することを想定した場合の電子書籍の範囲、必要なコンピュータシステム等について検討する。	・電子書籍の貸出サービスを導入した公共図書館の動向並びに電子書籍に関する情報収集を行った。	○	・市立図書館に導入することを想定した場合の電子書籍の範囲、必要なコンピュータシステム等についての検討	
4 だれもが使いやすい、市民とともに歩む図書館をめざします	4-1	障害者・高齢者サービスの充実	① 大活字図書、点字・録音資料、手話・字幕付き映像資料を充実する。	・バリアフリー図書(点字資料・大活字資料・デージー(★注7)資料、漫画など)の充実を図る。	・大活字図書の購入、点字資料・録音資料、カセットテープ、デジターの製作、手話・字幕付き映像資料の製作を行い、資料の充実を図った。 ・大活字図書306冊(昨年度比245%増)の収集、デージー96タイトル(昨年度比872%増)、手話・字幕付き映像資料11タイトル(昨年度比57%増)の製作など昨年度を上回る資料の充実を図った。	○	
			② 対面読書サービスを引き続き実施する。	・対面読書サービスを継続的に実施し、視覚に障害のある市民への読書活動の推進を図る。 ・サービスを担う音訳協力者の技術向上に向けた研修を実施する。	・中央図書館、香里ヶ丘図書館、楠葉図書館、菅原図書館、蹉跎図書館、山田分室、市駅前サテライトにおいて14人の視覚に障害のある市民が延べ375回対面読書サービス(対前年度31.3%減)を受けた。 ・音訳協力者を対象としたフォローアップ研修を全15回、延べ239人に研修を実施した。	○	
			③ 手話で楽しむおはなし会などのバリアフリー行事を引き続き実施する。	・「バリアフリー映画上映会」「手話で楽しむおはなし会」「手話ブックトーク」を実施し、聴覚に障害のある市民への読書活動推進および聴覚障害に対する理解促進を図る。	・「バリアフリー映画上映会」「手話で楽しむおはなし会」「手話ブックトーク」を実施した。 ・手話で楽しむおはなし会等のイベントを計16回実施した(参加人数は延べ420人(昨年度比27.3%増)で、昨年度より増加した)。	○	
			④ 図書館利用が困難な障害者・高齢者等への宅配サービスについて調査研究を進める。	・障害者向けの宅配サービス導入の可能性及び民間事業者を活用した宅配サービス導入の可能性について検討を行う。	・職員が対象者を訪問しての宅配サービスは実施困難であるので、他の方策による宅配サービスを実施している公共図書館の事例を調査した。	○	・民間事業者を活用した宅配サービス導入の可能性についての検討
4-2	映図書館活動への市民参加と市民意見の反	① 図書館ボランティアの活動を一層発展させるとともに、ボランティアが幅広く自主的に活動できるシステムづくりを進める。	・図書館ボランティアに対して活動内容ごとの研修を実施し、スキルアップを図る。 ・ボランティアの活動内容別のグループ化に向け、協議・調整を行う。 ・各グループごとの活動を中心にボランティア同士が交流を図りながら中央図書館でのボランティア活動を行う。	・受付カウンターでの総合案内、書架の整理、おはなし会などの子ども向け行事、寄贈図書の整理等のボランティア活動の場を提供するとともに、ボランティア対象の研修会(計18回)や図書館見学会を実施してスキルアップを図った。 ・(参考:中央図書館ボランティアの人数は計122人) ・平成25年度からの実施に向け、ボランティアの活動内容別のグループ化に向け、ボランティアと協議・調整を行った。	○		
		② 市民や学識経験者などで構成された外部委員会から意見を聞く。	・図書館運営に第三者の意見を反映させるため、外部委員会として枚方市社会教育委員会議で意見聴取を行う。	・社会教育委員会議を3回開催し、第2次グランドビジョンの進捗状況について、意見を伺った。	○		
		③ ご意見箱を置くなど積極的な市民意見の収集に努める。	・図書館利用アンケートの実施、中央図書館・市駅前サテライトへのご意見箱の設置、市長への提言等を活用し、市民意見の収集に努める。	・市内全図書館・分室・自動車文庫にご意見箱を設置するとともに、市長への提言等を活用し、市民意見の収集に努めた。 ・ご意見箱への意見として、利用者マナー、施設・設備、職員の対応、開館時間、図書館資料、サービス、運営、自習室などについて51件の意見をいただいた。 ・市長への提言および市民相談課への問合せとして、自習室の設置の希望などについて7件の意見をいただいた。	○		
4-3	善設図書館の改修・施設	① 市の市有建築物保全計画の枠組みの中で、必要な施設等の改修を図る。	・市の市有建築物保全計画の枠組みの中で、必要な施設等の改修を行う。	・楠葉図書館、蹉跎図書館の給排水工事に併せて、トイレのバリアフリー化及び館内改修を行った。 ・サブリ村野の耐震補強とバリアフリー化工事の中で村野分室の館内改修を行った。	○		
		② 香里ヶ丘図書館については、バリアフリー化や耐震化の観点から早急に改修・改善を検討する。	・耐震診断を実施する。 ・施設改修の時期及び内容を検討する。 ・必要な改修工事にかかる設計委託を行う。 ・必要な改修工事を行う。	・耐震診断を実施し、耐震性に問題がないことを確認した。	○	・施設改修の時期及び内容の検討	

運営基本方針	No.	サービスの種別	主要なサービス展開の方向	平成27年度末までの取組内容	平成24年度の実績	進捗状況の評価	平成25年度の取組予定(継続的な取組は除く)
効率的効果的なサービス提供を行う図書館をめざします	5-1	効率的効果的な運営体制の構築	① 将来を見据え、正職員司書を中核として、多様な任用形態の職員も活用して最適な職員配置の具体化に向けて取り組む。	・多様な任用形態の職員を活用した職員配置を行う。	・平成24年4月1日から図書館を社会教育部の所管する教育機関として改編するとともに、図書館総務事務を社会教育課へ、市史編纂に関する事務を文化財課へ移管した。 ・多様な任用形態の職員の活用を行った。	○	
			② 中央図書館、地域館、分館、分室の図書館各施設と自動車文庫については、市内全域サービスを基本としながら、最適な役割分担と配置をめざして「選択と集中」を進め、図書館システムの簡素化を図る。	・自動車文庫のステーションの設置場所を見直す。 ・中央図書館、地域館、分館、分室の図書館各施設と自動車文庫それぞれの役割を踏まえ、サービス向上と効率性の観点から管理運営について検討を行う。	・平成24年4月1日から図書館を社会教育部の所管する教育機関として改編するとともに、図書館総務事務を社会教育課へ、市史編纂に関する事務を文化財課へ移管した。 ・図書館各施設と自動車文庫それぞれの役割、利用状況等を踏まえ、効率的・効果的な運営体制について検討を行った。	○	
			③ 分室は、サービス圏域や利用状況を踏まえて、施設管理上の安全性やバリアフリーの観点からも、抜本的な再構築を図る。	・サービス圏域や利用状況、施設のバリアフリー状況、全域サービスの観点も踏まえながら、分室の再構築のあり方について検討する。 ・分室の再構築を図る。	・サブリ村野の耐震補強とバリアフリー化工事の中で村野分室の館内改修を行った。 ・各分室のサービス圏域や利用状況等の調査を行った。(分析については平成25年度に行う)	○	
			④ 中央図書館、地域館、分館、分室の開館時間帯についても、利用状況に即して見直す。	・各施設の時間帯ごとの利用状況の調査を実施する。 ・各施設の開館時間帯の最適化に向けた検討を行う。 ・各施設の開館時間帯の見直しを図る。	・平成24年4月1日からこどもフロアの開館時間を午後7時まで延長した。 ・時間帯ごとの利用状況の調査を行った。	○	
	5-2	人材員の育成・資質の向上	① 業務の専門性を踏まえた幅広い研修や実習を行い、図書館職員の資質の向上を図るとともに、リーダーシップのとれる人材を育成する。	・図書館業務に関する関係機関が実施する研修会へ職員を参加させるとともに、館内でも職員に対する研修を実施する。 ・その他職員の育成に必要な研修を行う。	・図書館業務に関する研修会等を延べ13人が受講した。 ・図書館基本研修、図書検索及びレファレンスに関する研修、著作権に関する研修など、図書館職員向け研修を延べ194人が受講した。 ・テーマ研修(人権、公務員倫理、メンタルヘルス、接遇)を延べ215人が受講した。 ・庁内研修を延べ51人が受講した。 ・日常業務の中で役割に応じたリーダーシップの発揮方法について研修を行った。	○	
	5-3	適切な蔵書管理	① 図書館資料の適正管理を徹底するため、短期休館による蔵書点検を全館で実施する。	・図書館資料の適正管理を徹底するため、市駅前サテライトを含む全館で短期休館による蔵書点検を実施する。	・全館(改修等で休館期間のあった楠葉図書館、さだ図書館、村野分室を除く)で年1回蔵書点検を実施し、行方不明蔵書等の洗い出し、魅力の薄れた図書の書庫入れ、使用に耐えない図書の除籍等を行った。	○	
			② 図書館分館にBDS(図書盗難防止装置)を導入するとともに図書館分室への防犯カメラの設置を検討する。	・各分館にBDS(図書盗難防止装置)を設置する。 ・分室への防犯カメラ設置について検討する。	・図書館分館へのBDS(図書盗難防止装置)導入は平成23年度に完了。 ・図書館分室への防犯カメラの設置について検討したが、導入経費、効果、個人情報の取り扱い等に課題があり、防犯ミラーの設置等、他の方策での対応を行うこととした。	○	・分室への防犯ミラーの設置
			③ 長期延滞等の悪質なルール違反に対する厳正な措置をとる。	・長期延滞等の利用者に対する貸出制限について検討し、枚方市立図書館条例施行規則の改正を行う。 ・長期延滞者に対する貸出制限を継続する。	・平成24年4月1日に改正枚方市立図書館条例施行規則を施行した。長期延滞等の利用者に対する貸出制限を実施し、81人に対して貸出制限を実施した。	◎ (H24)	
	5-4	検報機 討化機 な化 ど・ の情	① 自動貸出機等図書館サービス用機器について、その機能や費用対効果について研究・検討し、メリットが明らかな機器を積極的に導入する。	・自動貸出機等図書館サービス用機器について、その機能や費用対効果について研究・検討し、メリットが明らかな機器を積極的に導入する。	・平成24年度の自動貸出機の利用実績は、利用者数が7,760人(年換算昨年度比3.7%増)、貸出冊数が25,961冊(年換算昨年度比5%増)と、昨年度より増加した(平成23年度に中央図書館に自動貸出機を1台増設済)。	○	

(総評)
「第2次枚方市子ども読書推進計画」の策定、中央図書館2階こどものフロアの開館時間の平日午後7時までの延長、貸出図書の長期延滞者に対する貸出制限の実施といったグランドビジョンで示した具体的事業を実施し成果をあげることができたほか、図書館サービス全般については主要なサービス展開の方向に沿って順調に進捗している。
特に市立図書館サービスの特色としている子ども読書活動の推進については、乳幼児から小学生を対象としたおはなし会など様々な事業を実施し多くの市民の参加を得ることができ、また「世界のバリアフリー絵本展」など障害のある子どもたちのための読書支援を行った。はじめてヤングアダルト層(中学生)対象のブックリストの作成・配布を行い、同層の利用促進を図るとともに、学校図書館との連携による「中学生の調べ学習コンクール」の開催、読書ボランティアへの支援を行うなど成果をあげることができた。
全小学校を対象に、読書支援用図書の団体貸出とストーリーテリングなどを行う学校訪問を、また全小中学校を対象に、調べもの学習用図書の団体貸出を、中央図書館・分館・分室にて実施し、多くの小中学校で利用していただいた。
枚方地域コレクションの構築については、枚方地域に関する郷土や歴史に関する研究やレファレンスに活用できる専門書を中心に1,146冊を収集し、枚方市立図書館の特色づくりに向けた取り組みを行うことができた。
今後は、平成24年度までの取り組みを引き続き効果的に進めていくとともに、子ども読書活動推進のため学校図書館に対する団体貸出がさらに多くの小中学校で利用しやすい促進策、図書館未利用者の利用促進、市民の生活や仕事に役立つ地域の情報拠点としての機能を充実する上で不可欠なレファレンスサービスの充実と利用促進を図っていく必要がある。

- (注釈)
- ★注1 実利用者率・・・1年に1度でも図書館で貸出サービスを利用した利用者(枚方市在住者だけでなく在職・在学者等を含む)が「実利用者」でそれを枚方市の人口(住民基本台帳上および外国人登録)で除して、パーセンテージで表したものを。
 - ★注2 ヤングアダルト(YA)・・・図書館サービスの対象としてヤングアダルトは、主に中学生・高校生を指す。図書館では、青少年の身体的・情緒的発達特性等を踏まえ、彼らの興味や関心、学習などに関する資料要求に応えるため、図書館サービスの対象分野のひとつとして取り扱う。
 - ★注3 商用オンラインデータベース・・・ネットワークを経由し遠隔地から利用できるデータベースの総称。枚方市立図書館では、官報、雑誌や新聞記事、判例や法令、ビジネス書式集などを検索して読んだり印刷したりできるデータベースを契約している。
 - ★注4 PDF・・・Portable Document Format:ポータブル・ドキュメント・フォーマットの略称で紙に印刷するのと同じ状態のページを保存するファイル形式の名前。印刷文化を継承する電子的な紙とも言われている。
 - ★注5 パスファインダー・・・特定のテーマに関する文献、情報の探し方、調べ方の案内
 - ★注6 相互貸借・・・図書館利用者の求めに応じて、図書館同士が所蔵している資料を貸し借りすること。
 - ★注7 デイジー・・・Digital Accessible Information Systemの略で、日本では「アクセシブルな情報システム」と訳されている。ここ数年来、視覚障害者や普通の印刷物を読むことが困難な人々のためにカセットテープに代わるデジタル録音図書の国際標準規格となっており、専用の機械やパソコンにソフトウェアをインストールして再生をすることができる。国内では、点字図書館や一部の公共図書館、ボランティアグループなどでDAISY録音図書が製作され、主な記録媒体であるCD-ROMによって貸し出されている。